

製品名: VASP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21486**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:40kD;Observed MW:50kD

抗原情報

遺伝子名	VASP
別名	VASP;Vasodilator-stimulated phosphoprotein;VASP
遺伝子 ID	7408.0
SwissProt ID	P50552
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

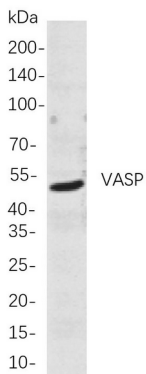
細胞局在: 細胞質。血管拡張刺激リン酸化タンパク質 (VASP) は、Ena-VASP タンパク質ファミリーのメンバーです。Ena-VASP ファミリーのメンバーは、E/DFPPPPXD/E モチーフを含むタンパク質と結合し、Ena-VASP タンパク質を接着斑に誘導する EHV1 N

末端ドメインを有します。タンパク質の中央領域には、SH3 および WW ドメインを含むタンパク質と結合するプロリンリッチドメインが存在します。C末端の EVH2 ドメインは四量体形成を媒介し、G および F アクチンの両方に結合します。VASP はフィラメント状アクチンの形成に関連し、細胞接着および運動において広範な役割を果たしていると考えられます。VASP は、インテグリンと細胞外マトリックスとの相互作用を制御する細胞内シグナル伝達経路にも関与している可能性があります。VASP は、環状ヌクレオチド依存性キナーゼ PKA および PKG によって制御されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



VASP Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。